

世界知所有の夢

アレクサンドリア図書館からGoogleまで

教育学研究科

生涯学習基盤経営コース

根本 彰

‡:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。

目次

1. 国立国会図書館とは何か
2. 電子書籍への関心の高まり
 1. KindleとiPad
 2. Googleブック検索
3. 知のストック装置としての図書館
4. 図書館の歴史
 1. アレクサンドリア図書館
 2. 近代の図書館
 3. 日本の図書館
5. 知を組織化する仕組み
 1. 分類
 2. メタデータ
 3. 全文検索
6. まとめ

国立国会図書館はどういうところか



永田町本館

http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:NDL_Tokyo01st3200.jpg



関西館

http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:National_Library_Kansai.jpg



国際子ども図書館(上野公園)

http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:International_Library_of_Children's_Literature.jpg

国立国会図書館は何をしているか

- 納本制度による日本の出版物の全点収集
- 全国書誌 (national bibliography) の編集
- 資料の保存と提供 (閲覧業務)
- インターネットを利用した各種データベースの提供

近代日本デジタルライブラリー

- 現在閲覧が可能な資料は、同館所蔵の明治期刊行図書約17万冊のうちの約13万冊と、大正期刊行図書約9万冊のうちの約2万7千冊
- 昨年度の補正予算120億円で、これを昭和期まで拡張中
- 著作権(著者が死亡後50年有効)の処理がたいへん

最新読書法

最新読書法

八

が爲に強て自己の不可なりと認むる所を可とし、價値なしと信ずる所を枉げて有益なりと説くの要なし、自己の觀察世評と相一致せず、苟も其所見却て世人より低きを自覺せば、須らく自ら鞭撻して延進せざるべからず、今人あり沙翁の、ハムレットを解する能はず、却て片々たる傳奇類を愛讀すとすれば、自ら其趣味の低きを悲しみ、且つ奮勵一番してハムレットを解するの程度に進まざるべからず、パーンス曰く、正直と眞實とは爾の案内者なり」と、正直の必要は讀書に於て最も其然るを感ず。

誰か讀書の暇なしと言ふや

思ふに世上煩劇なる要務に缺蒙する者は如何なる傑作雄篇とて、其全部を讀破する能はざるべし、さは言ふ、如何に煩劇なればとて一日五頁十頁を讀み二週三週日にして一冊の書を讀了する事は決して左程の困難にあらざるべし、一年にして二十五冊を讀破すとせば、人生五十年能く千二百五十巻を讀了すべし、誰か人生多忙を以て讀書の暇なしと言ふや、年々歳々新に刊行せらるゝ書冊の多きに驚く勿れ、却て此の如く利用し得らるべき時間を浪費しつゝあるをこそ愧づべけれ、讀は誓むべし、零碎の時間を利用し、名著を選んで之を讀破するの習慣を養ふ事は、是れ最も賢明なる讀書家の爲す所なり、ターバー曰く、智識は斯く迄知れりとして、自負し思慮は是れより以上を知らずとて、謙遜すと、皆ありと聞ふべし。

第一章 書籍の採擇

九

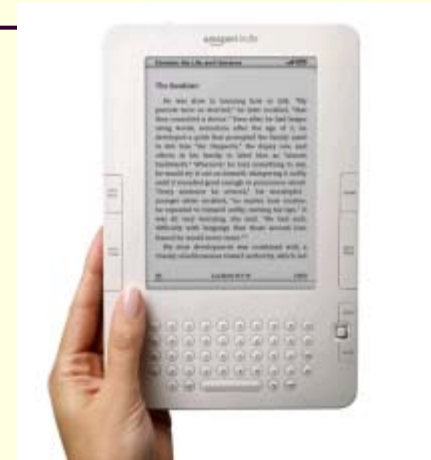
国政のための図書館

- 調査及び立法考査局
 - 戦後改革の理念→国会の強化
 - 国会議員のための調査支援業務
 - 「野党議員しか使わない」
 - 「知」に基づいた意思決定
- 支部図書館制度
 - 最高裁および各省庁の図書館を分館化
 - 行政への支援と同時に行政の管理
 - 三権分立との関係

電子書籍への関心の高まり

■ Kindle

- 世界最大のインターネット書店Amazon
- 電子書籍専用端末
- 電子ペーパー



■ iPad

- コンピュータメーカー Apple
- 汎用電子機器
- カラー液晶



共通するビジネスモデル

- 電子書籍コンテンツのデータベース化
- 出版社・新聞社・雑誌社の参入
- 読みやすい端末の提供

- 音楽ビジネスと類似のモデル
 - パッケージ(レコード・CD)からネット配信
 - 書籍も同じ道を歩むのか？

Googleブック検索の衝撃

- 書物コンテンツを図書館との共同でデジタル化
 - ハーバード、プリンストン、ミシガン、オックスフォードなど著名大学図書館が参入
- 画像化＋テキスト化（OCR技術）
 - 「フェアユース規定」により著作権をクリア
- 全文検索→スニペット表示→書店での購入/図書館での利用/全文テキストの購入

インターネット時代の学校図書館 著者: 根本彰, 中村百合子



☆☆☆☆

0 レビュー

[レビューを書く](#)[この書籍について](#)[目次](#) 105 ページ[リンク](#) [ご意見](#)104 ページはこの書籍のプレビューに含まれていません。 [詳細](#) [マイライブラリに追加](#)

この書籍を購入

[東京電機大学出版局](#)[Amazon.co.jp](#)[紀伊国屋書店 BookWeb](#)[楽天ブックス](#)[所蔵図書館を検索](#)[地域の書店を検索](#)[すべての販売店](#)

スポンサーリンク

[Cisco教育フォーラム](#)

学校ICT時代のソリューション。未来の教育システムの可能性を探る。

[events.unisfair.com](#)東京電機大学出版局の許可を受けてページを表示しています。 [著作権](#)

め注意が必要である。

- **ダウンロード** 容量が大きくダウンロードに時間がかからないか、新たにソフトウェアやプログラムをダウンロードする必要がないかを確認する。

D ナビゲーション

このカテゴリーでも、第5章の評価項目に共通する項が多くあるので、参照していただきたい。

- **レイアウト** 文字の種類・大きさ、配色・デザイン、全体のレイアウトが使いやすいものかチェックする。
- **ナビゲーション** 書籍では、目次や索引から、情報がどのように構成され、読者に提示されるかを知ることができ、必要な情報を取り出すことができる。リンクによって、情報を自由に展開していくことのできるウェブ・サイトでも、その利点を生かすため、利用者が情報の迷路に入り込まないようナビゲーションの工夫がされていなくてはならない。フレームをうまく活用する、サイト内検索エンジンを用意する、正しいリンクを提供する、サイトマップを用意する、「元へ戻る」「TOPへ」「HOMEへ」といったアイコンを配置する、URLでわかりやすいファイル名が使われている、などの点をチェックする必要がある。

知の流通に関する二つのアポリア

- パッケージからデジタルネットワーク技術へ
 - 公共セクターから商業セクター(市場)へ
- 紙メディアはなくなるのか
 - 出版社はモノを生産しているのか、知を生産しているのか
 - 情報発信＝出版なのか
 - 編集とはどういう行為か
 - 全てがネットビジネスに包括されるのか
 - 図書館員は何をしているのか

知のストック装置としての図書館

- ヨーロッパ諸国ではGoogleに対して批判的
 - 公共的に対応してきた歴史
 - 知は市場化になじまない
 - アメリカ一局支配への対抗意識
- 各国でnational digital libraryをつくりそれを連携していく＝World Digital Library
- これを可能にするのは、個々の図書館

古代アレキサンドリア図書館

- 古代地中海世界の商業・文化の交流地点
- ムセイオンとともに世界の文化人を集めた
- なぜ図書館か
 - 学問・文化はパピルスの写本で伝えられた
 - 図書館は筆写する場であり、知をコピーし、蓄積した。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:Ancientlibraryalex.jpg>



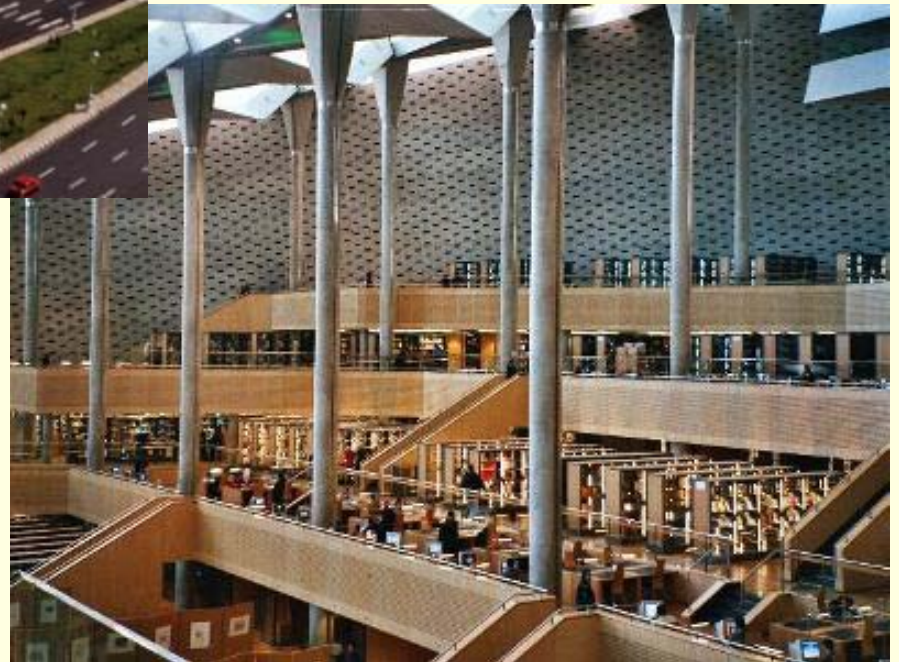
<http://web1.nazca.co.jp/PAKARU/10-3EGYPT.htm>

Bibliotheca Alexandrina

ユネスコとエジプト政府の共同プロジェクト。2001年開館



http://en.wikipedia.org/wiki/File:BA_day.jpg



<http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Egypt.Alexandria.BibliothecaAlexandrina.02.jpg>

ヨーロッパの図書館

- 教会や修道院は同時に図書館であった
 - 散逸する文献を集め後世に残す仕事
 - 最良の「版」を研究し注解する仕事
- 近代になると、啓蒙専制君主が競って王室図書館を公開していく
 - 啓蒙＝知の開放
 - 次はBIBLIOTECA REALE - TORINO



書誌とドキュメンテーション

- 書物から意図的に知を取り出す試み
- Paul Otlet(1864-1944)のドキュメンテーション
 - 世界の図書館目録や書誌をカード化し、これを一系列に並べて索引化する試み
 - 国際ドキュメンテーション連盟とUDC(国際十進分類法)



<http://www.mathewingram.com/work/2007/04/02/todays-interesting-link-the-mundaneum/>

図書館における知の組織化

■ 分類

- 知の体系に位置づける行為

■ 書誌

- 知を記述する行為

■ メタデータ

- 記述した要素項目ごとに検索
- 書籍内メタデータ(目次、索引など)

■ 全文検索

- 全文を対象にして検索する行為

国立国会図書館蔵書目録のメタデータ構造

詳細設定 所蔵館 全館 入力消去 検索

タイトル	細分		AND	説明
著者・编者	細分	根本彰	AND	説明
出版地			AND	説明
出版者			AND	説明
出版年		年以降 年まで		説明
件名	細分		AND	説明
分類記号	追加		AND	説明
標準番号	追加			説明
書誌番号	追加			説明
請求記号	細分			説明
各種コード				
本文の言語	追加	リストから選択	AND	説明

詳細設定 入力消去 検索

項目間を AND条件で結び
 タイトル順 の 正順 に 和図書 を先にして 20件 ずつ表示



文献の発生、流通、利用、さらには図書館における収集、組織化、提供を総合的に捉える「書誌コントロール」の概念と実態を徹底的に解説する。
 勁草書房

書誌 詳細表示

所蔵詳細 / 申込み

書誌情報 和図書(1/1件目) [他のデータベースへ](#) [手よむ!さがす!](#)

請求記号	UL611-G7
タイトル	文献世界の構造：書誌コントロール論序説
責任表示	根本彰著
出版地	東京
出版者	勁草書房
出版年	1998.2
形態	273p；22cm
注記	文献あり
注記	索引あり
ISBN	4-326-00021-X
入手条件・定価	3600円
全国書誌番号	98082179
個人著者標目	根本, 彰 (1954-) ネモト, アキラ
普通件名	書誌コントロール ショシコントロール → 関連語: 資料組織化 シリョウソシキカ
NDLC	UL611
NDC(9)	014
本文の言語コード	jpn: 日本語
書誌ID	000002670749

12. [地域資料入門 / 三多摩郷土資料研究会\[他\]](#) -- 日本図書館協会, 1999.4. -- (図書)
13. [電子図書館の神話 / ウィリアム・F・バーゾール\[他\]](#) -- 勁草書房, 1996.4
14. [図書館・アーカイブズとは何か.](#) -- 藤原書店, 2008.11. -- (別冊『環』; 15)
15. [図書館を支える日本の条件 / 根本彰.](#) -- Aoyama Librarian's Forum, 2000.3. -- (A)
16. [図書館情報学の地平 / 三浦逸雄\[他\]](#) -- 日本図書館協会, 2005.3
17. [図書館情報専門職のあり方とその養成 / 日本図書館情報学会研究委員会.](#) -- 勉誠
18. [図書館の社会理論 / マイケル・ハリス\[他\]](#) -- 青弓社, 1991.9
19. [文献世界の構造 / 根本彰.](#) -- 勁草書房, 1998.2
20. [変革の時代の公共図書館 / 日本図書館情報学会研究委員会.](#) -- 勉誠出版, 2008.

図書館における知の組織化

■ 分類

- 知の体系に位置づける行為

■ 書誌

- 知を記述する行為

■ メタデータ

- 記述した要素項目ごとに検索
- 書籍内メタデータ(目次、索引など)

■ 全文検索

- 全文を対象にして検索する行為

まとめ

- Googleブック検索やAmazon Kindleなどの電子書籍のビジネスモデルは、知の組織化というアイデアに基づく
- 古代から存在する図書館は、印刷術による複製、カード目録や分類法のようなメタデータ技術によって、電子図書館を準備してきた
- それでは、物理的図書館は不要なのか？
- 紙メディアはいらなくなるのか？

参考文献

- ビブリオテカ・アレキサンドリア・プロジェクト
<http://www.bibalex.jp/index.html>
- 根本彰『文献世界の構造』勁草書房 1998
- 根本彰ほか編『図書館情報学の地平:50のキーワード』日本図書館協会 2005